

施工要領書

ホーム床点検口HDIK型用オプション



床下収納庫ユニット PKT60U-WOP型

⚠️ ホーム床点検口 HDIK62型は別売りです。

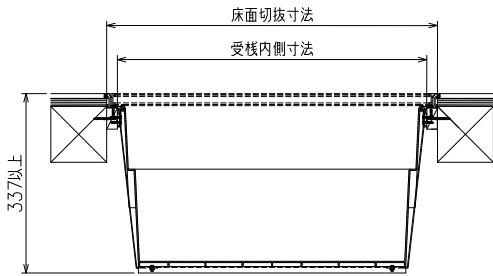
使用上の注意

- 収納ボックス本体の中には入らないでください。
- 収納ボックス本体の耐荷重は、1箱につき75kg以下ですので、それ以上は入れないでください。
- 床下収納庫の機能の破損・怪我の恐れがありますので、決められた使用法以外の事はしないでください。

1. 付属部品

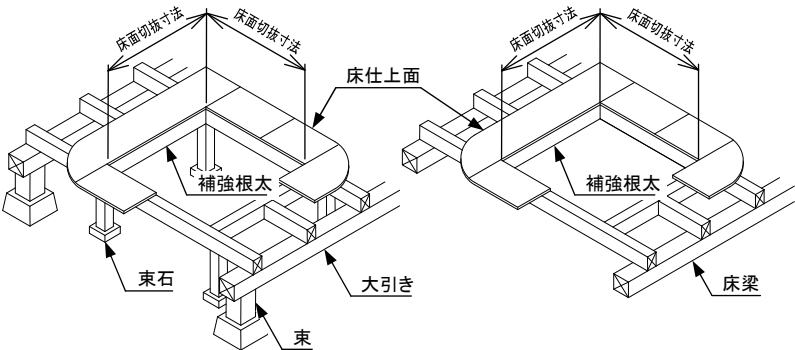
付属部品名	入数
さら木ねじ (3.1×20)	8
なべドリルねじ (4×19)	4
吊り金具A	2
吊り金具B	1
なべ小ねじ (M4×9)	4
六角ナット (M4)	4
ばね座金 (M4)	4

納まり参考図



2. 床組み I

① 面切抜寸法で点検口を設置する床面を開口し、床面から地面まで340mm以上を確保し補強根太を全周にまわします。



《1階での施工例》

《2階での施工例》

- ⚠️ 床の強度は、東を入れ十分確保してください。
- ⚠️ 切り抜いた床材は、蓋材に使用してください。
- ⚠️ 改築の場合、下面の配管にご注意ください。

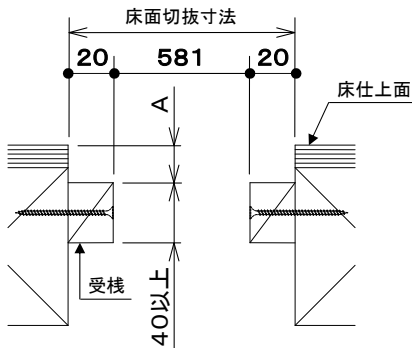
【床面切抜寸法】
621×621 mm

3. 床組み II

① 床仕上面からA寸法の段になるように、20×40mmの受棧をまわします。

※受棧の内側寸法は必ず581mm (公差は±1mm) になるように施工してください。

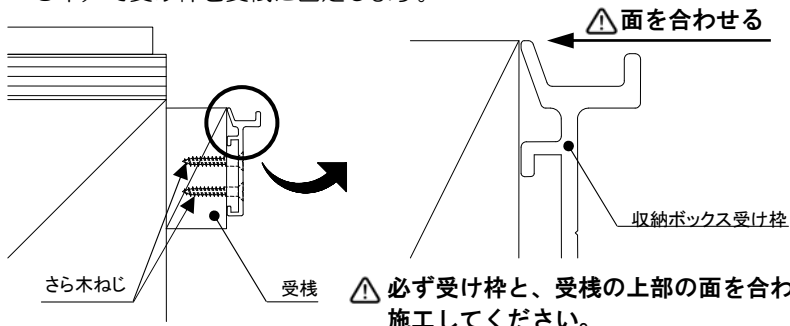
点検口部の機種名	A寸法
HDIK62型	27mm



- 受棧の内側寸法が581～582mmの範囲内で施工されていないと受け枠を取付ける事が出来ません。必ず581～582mmの範囲内にて施工してください。
- 床下に断熱外枠が縦に入る高さがない場合は受棧を取付けるまえに、断熱外枠を床下に入れてください。
- 受棧はコーススレッド (L=60mm以上を推奨) で取付けてください。(1辺5本以上での取付けを推奨)

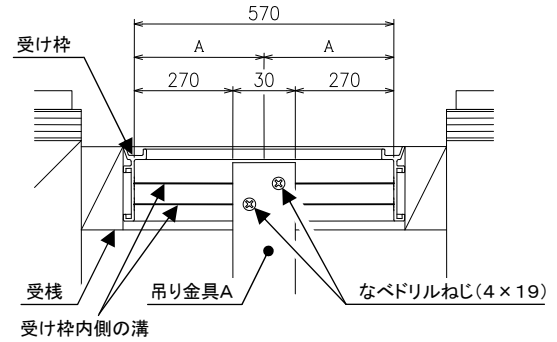
4. 受け枠の取り付け

① 受け枠の上部を受棧の上面の面と合わせて、さら木ねじ (3.1×20 : 8本) で受け枠を受棧に固定します。



5. 収納ボックス用吊り金具の取り付け

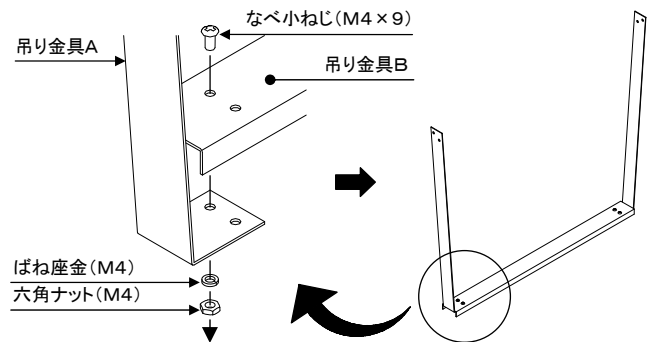
① 吊り金具Aを受け枠のセンター位置、かつ受け枠内側の溝に合わせなべドリルねじ (4×19 : 片側2本) で固定します。
※反対側も同位置にてねじ止めします。



- ・ 受け枠のセンター
 - ・ 受け枠内側の溝
- の位置に合わせてねじにて固定

⚠️ 反対側も同寸法にてねじ止めします。

② 吊り金具Bを受棧に取り付けた吊り金具Aに組み込みます。



⚠️ 吊り金具の取り付け寸法がまもられていないと、外枠にきちんと収納ボックスが入らない場合がありますのでご注意ください。

6. 収納ボックス本体の取り付け

① 収納ボックス本体を受け枠にしっかりと引っ掛かるまで押し下げます。

